

議題1 釜蓋遺跡の調査について

1 平成30年度前期の発掘調査について

(1) 目的

- ・ 2号環濠内中央部で確認された大型竪穴建物跡の構造や性格の把握（中央部①）
- ・ 2号環濠内中央部の遺構の分布状況の確認（中央部②）

(2) 期間 平成30年5月7日～7月末（予定）

(3) 調査位置 資料1参照

(4) 調査面積 1250㎡

(5) 内容

○中央部①の調査について（資料1・2参照）

(SI1152)

- ・ SI1152は、昨年10月の委員会で「長軸14.4m、短軸約12mの長方形」と報告。
- ・ 今回の調査の結果、2つの遺構（SI1152・SI1581）が重複していたことによる誤認であったことが判明した。
- ・ SI1152の平面形は、一辺約12mの方形と考えられる。
- ・ 新たに確認されたSI1581は、SI1152より新しく、一辺6～7mの竪穴建物跡と想定される。

(SI1568)

- ・ 昨年10月の委員会で「東西約12.2m」の竪穴建物跡と報告。
- ・ 今回の調査の結果、東西12.5m、南北12.43mで、平面形はいびつな方形の竪穴建物跡である可能性が高くなった。
- ・ 覆土の上層にⅢ-2層が10～20cm堆積する。
- ・ 現在、南東1/4を調査中である。

○中央部②の調査について（資料1参照）

- ・ 平成26・28年度調査により「遺構が希薄」とした地点の想定が正しいかどうかを確認するために設定。
- ・ 現在、Ⅲ-1・2層を掘削中であり、今後遺構の検出作業を進める。

○竪穴建物跡の調査方法について（別紙概要、資料3・4参照）

- ・ 大型竪穴建物跡および県内の竪穴建物跡を集成・検討した結果、4分割したうちの南東と北西の2か所の調査が有効であることが判明した。

(6) 今後の作業

- ・ 中央部① SI1568 遺構掘削（南東および北西1/4）
- ・ 中央部② 遺構の検出作業

2 平成30年度の後期の発掘調査について

(1) 期間 平成30年9月～10月末（予定）

(2) 調査位置 資料1参照

(3) 調査面積 1250㎡（前期調査区を継続して調査）

(4) 内容

- ・ 中央部① SI1152 およびそれに重複する遺構の内容、時期、新旧関係を確認するため、一部遺構を掘削する。
- ・ 中央部② 遺構の検出作業

(別紙) 竪穴建物の調査方法 概要

1 調査方法（案）

- ・ 4分割したうちの南東・北西の2か所を調査する。

2 方法（案）作成に至る検討事項

(1) 大型竪穴建物の集成（資料3）

- ・ 弥生時代後期～古墳時代前期にかけての大型竪穴建物跡について、報告書等をもとにカード化した。
- ・ 長軸で9m以上のものを大型竪穴建物とした。
- ・ 主に北陸・長野・関東を中心に集成しており、全国的な集成ではない。
- ・ 検討の結果、方形の竪穴建物では4本柱が多く、6本柱もあった。
- ・ 地域により平面形・炉の位置・その他施設（土坑など）の位置にばらつきがあり、規則性は認められなかった。

(2) 新潟県内の竪穴建物の集成（資料4）

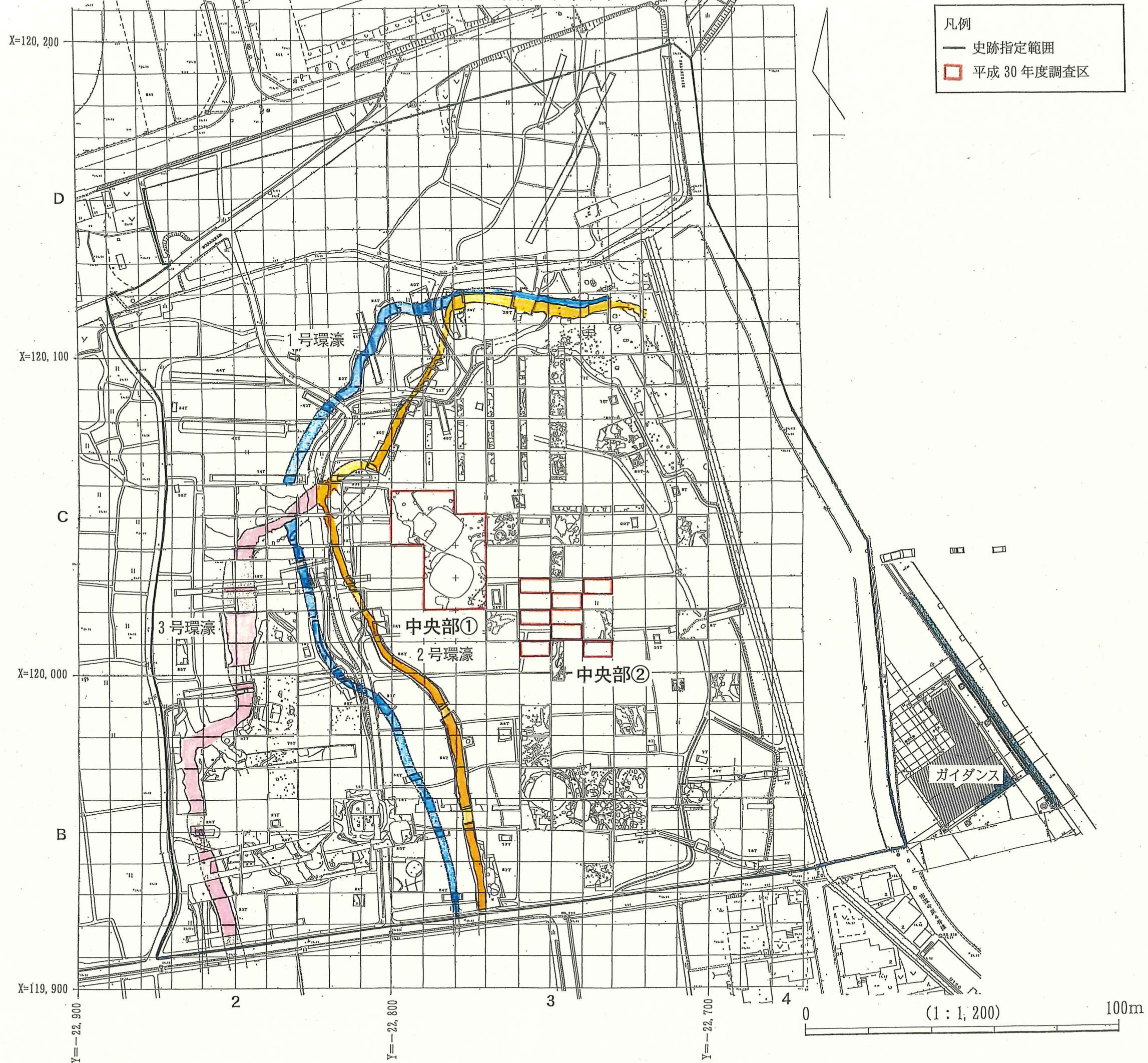
- ・ 弥生時代後期～古墳時代前期にかけての竪穴建物跡を大小問わず報告書等をもとにカード化した。
- ・ 検討の結果、方形の竪穴建物では4本柱が多い。
- ・ 炉の位置は、中央あるいは中央からやや北・西寄りに確認される例が多い。
- ・ 土坑の位置は、東側で確認された例が多く、東西の中軸線上に配置される例が多い。

(3) 調査方法の検討結果

- ・ 柱穴・炉跡・土坑等の検出を想定した結果、南東部と、その対角線上にある北西部を調査することが有効と考えられる。

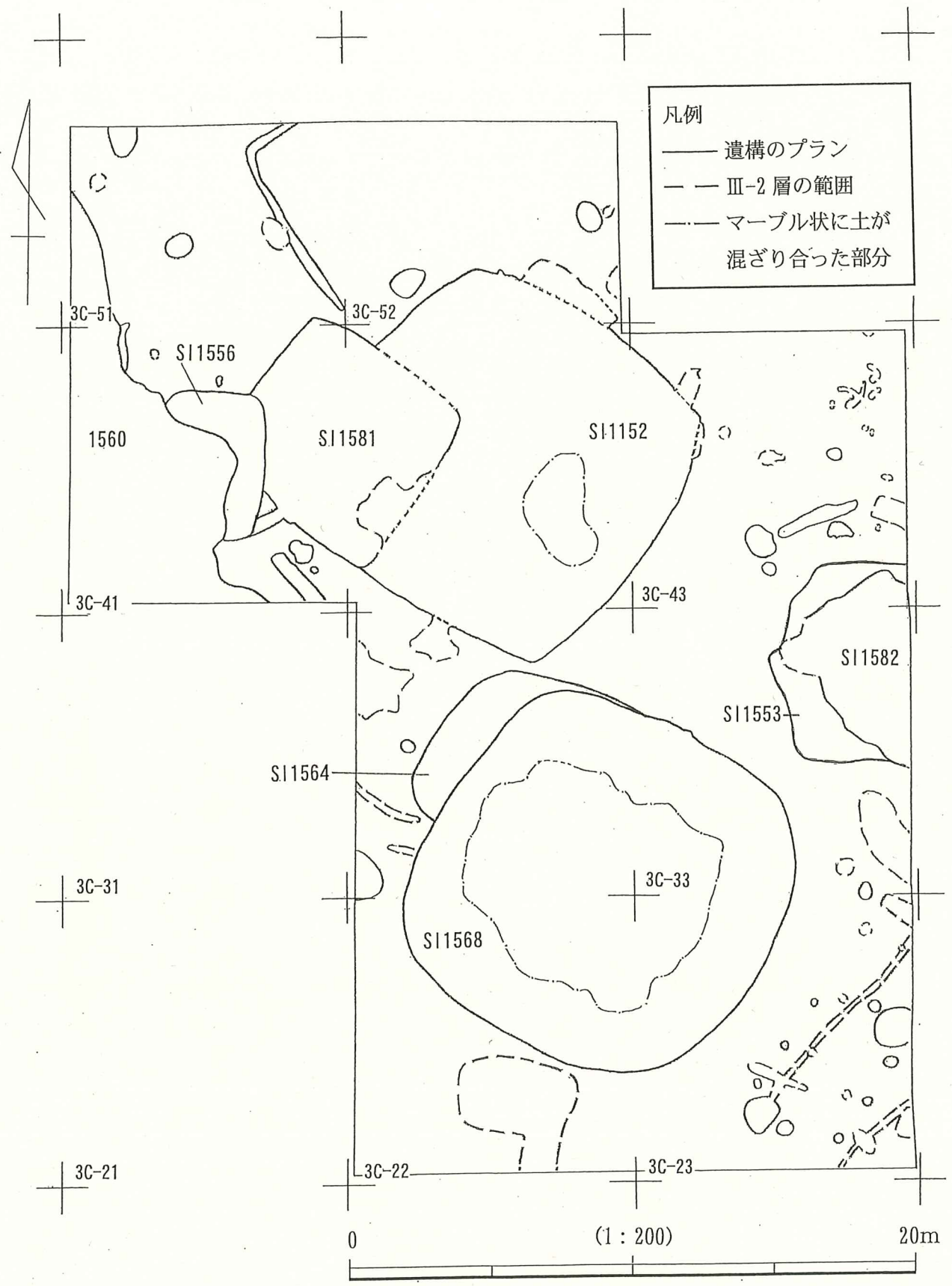
釜蓋遺跡調査区位置図

資料1

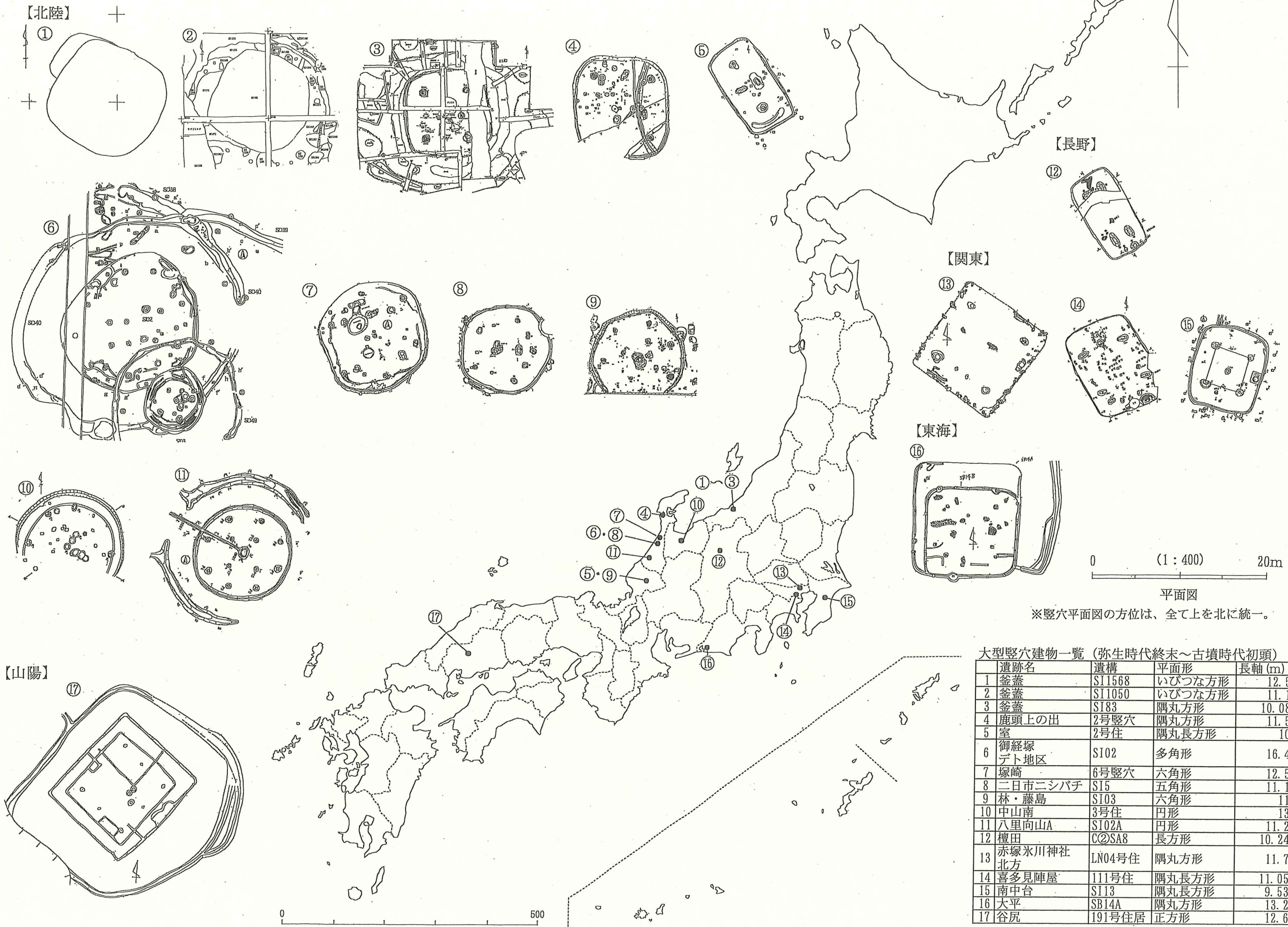




中央部① SI1568 周辺の調査区全景（上空から）



中央部① SI1568 周辺の調査区図



※竪穴平面図の方位は、全て上を北に統一。

大型竪穴建物一覧 (弥生時代終末~古墳時代初頭)

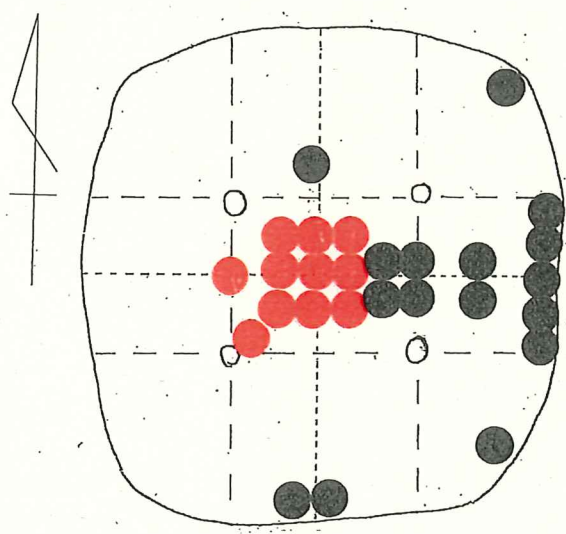
遺跡名	遺構	平面形	長軸 (m)
1 釜蓋	SI1568	いびつな方形	12.5
2 釜蓋	SI1050	いびつな方形	11.1
3 釜蓋	SI83	隅丸方形	10.08
4 鹿頭上の出	2号竪穴	隅丸方形	11.5
5 室	2号住	隅丸長方形	10
6 御経塚 デト地区	SI02	多角形	16.4
7 塚崎	6号竪穴	六角形	12.5
8 二日市ニシバチ	SI5	五角形	11.1
9 林・藤島	SI03	六角形	11
10 中山南	3号住	円形	13
11 八里向山A	SI02A	円形	11.2
12 檀田	C②SA8	長方形	10.24
13 赤塚氷川神社 北方	LN04号住	隅丸方形	11.7
14 喜多見陣屋	111号住	隅丸長方形	11.05
15 南中台	SI13	隅丸長方形	9.53
16 大平	SB14A	隅丸方形	13.2
17 谷尻	191号住居	正方形	12.6

分布図 主な大型竪穴建物跡 (弥生時代終末~古墳時代初頭)

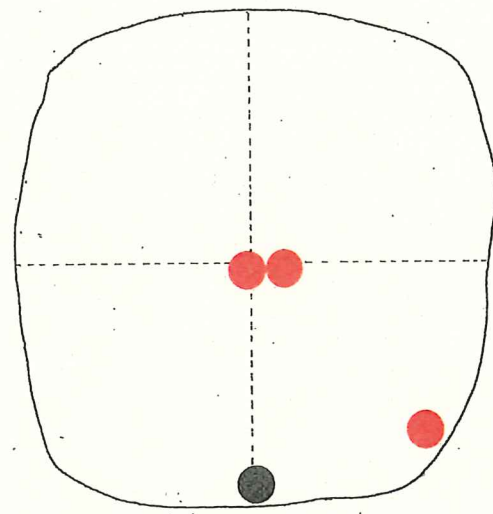
■新潟県内の竪穴建物跡（弥生末～古墳初頭） 平面形と柱の本数

柱の数 平面形	2本	4本	5本	不明	合計
方形	1	20	0	4	25
長方形	1	0	0	1	2
円形	0	0	1	0	1
合計	2	20	1	5	28

■新潟県内の竪穴建物跡（弥生末～古墳初頭） 炉と土坑の位置

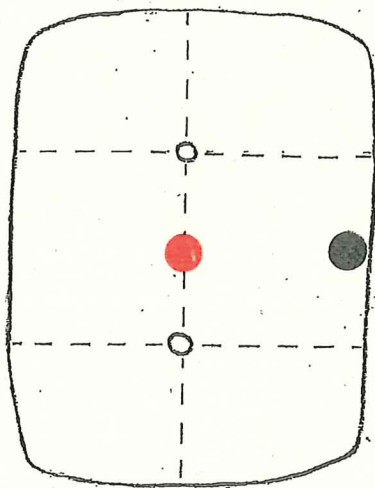


方形・4本柱

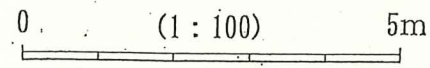
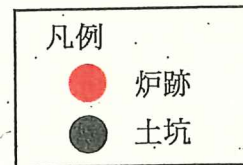


方形・柱の数不明

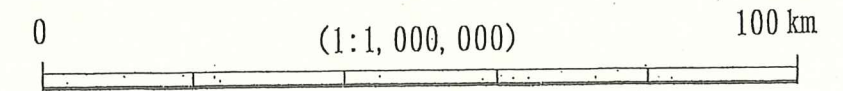
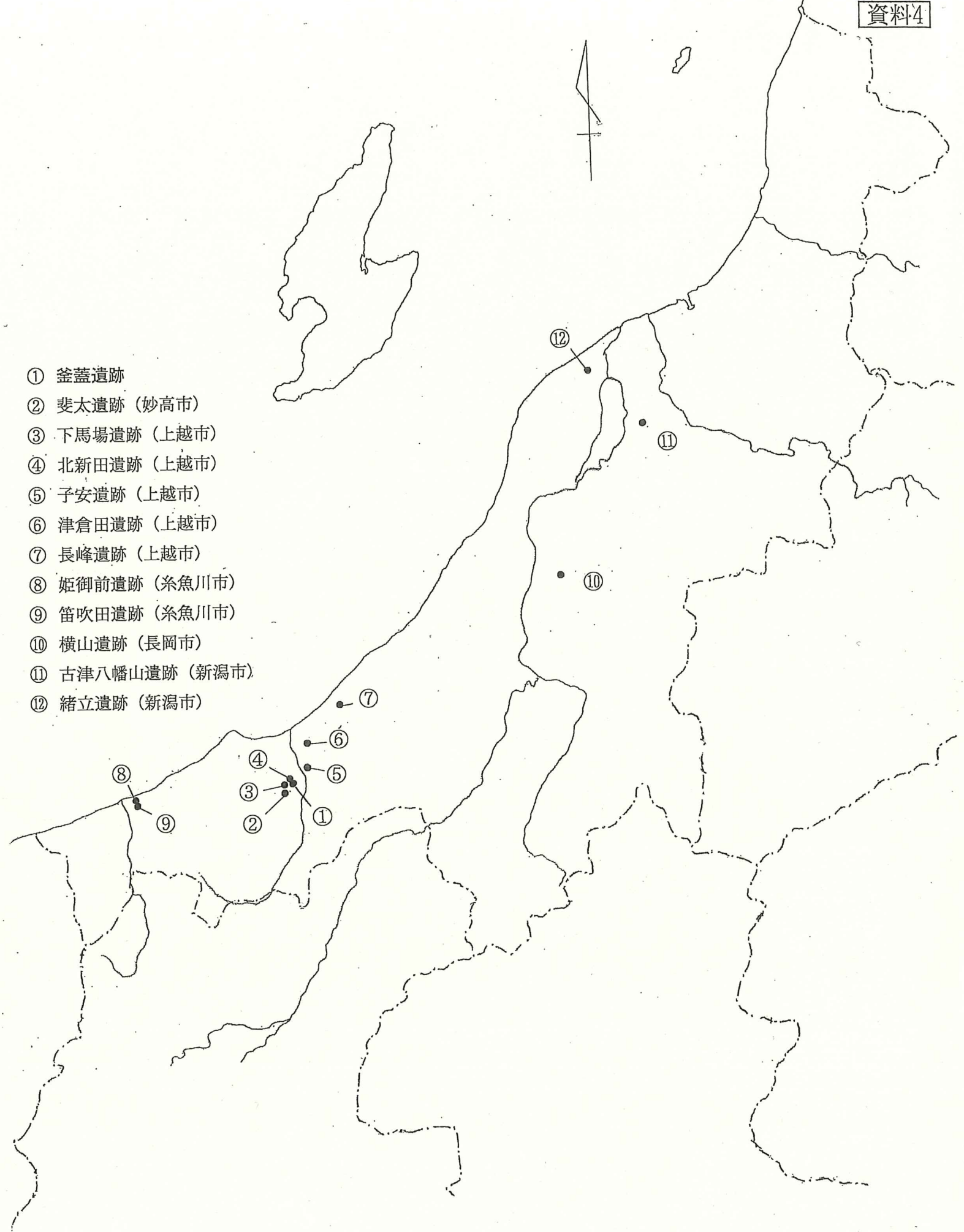
※方形・2本柱の例は炉と土坑の位置が不明



長方形・2本柱



- ① 釜蓋遺跡
- ② 斐太遺跡（妙高市）
- ③ 下馬場遺跡（上越市）
- ④ 北新田遺跡（上越市）
- ⑤ 子安遺跡（上越市）
- ⑥ 津倉田遺跡（上越市）
- ⑦ 長峰遺跡（上越市）
- ⑧ 姫御前遺跡（糸魚川市）
- ⑨ 笛吹田遺跡（糸魚川市）
- ⑩ 横山遺跡（長岡市）
- ⑪ 古津八幡山遺跡（新潟市）
- ⑫ 緒立遺跡（新潟市）



新潟県内 竪穴建物跡が確認された主な遺跡（弥生時代終末～古墳時代初頭）